

fft

FUKUI FIBERTECH Co.,Ltd.

つむぐ、つながる
次の百年へ。

鳥インフルエンザの防疫措置に 福井ファイバーテックの不活化剤

2022年度 新あいち創造研究開発補助金の交付事業
ドローンを活用した、農畜産現場におけるウイルス不活化、抗菌、消臭に対する実証

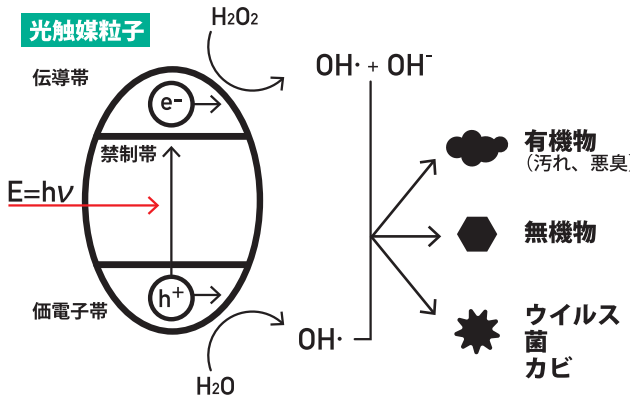
消臭

抗菌

NONA7 ノナセブン

協力：株式会社イラコファーム

光触媒活性の発生原理



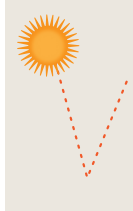
NONA7なら
オールインワン

酸化分解

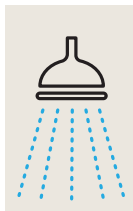
酸化

不活性化

ノナセブンの使い方



ノナセブンは、光触媒機能を利用した消臭・抗菌・抗ウイルス剤です。水と混ぜることで過酸化水素が発生、光が当たると酸化チタンの光触媒技術により、有機物を分解する活性酸素類が作られます。



【水に溶かして使用する場合】
水1~2%ほど良く溶かして使用する。溶かしてから30分程度光に当ててから使用すると効果が上がります。養鶏場の鶏糞の臭いの軽減や、鳥インフルエンザの不活性化が認められています。

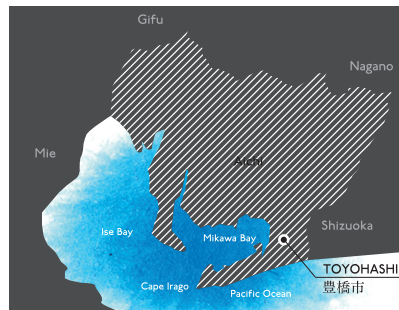
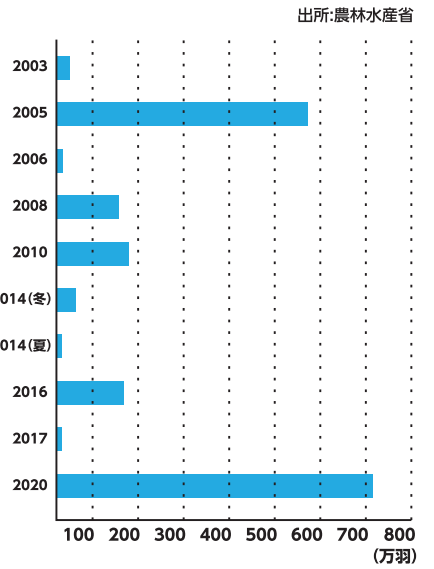


【パウダーのまま使用する場合】
そのままでもお使いいただけますが、効果発揮までに時間がかかります。空気中の水分や土壌の水分と反応して過酸化水素水が発生します。以降は上記と同じく活性酸素類で消臭。分解効果が生じます。土壌改良に使用する場合は、できるだけ水分のあるところで土壌表面に残るように散布してください。

養鶏場運営のリスク軽減

発症すると全羽処分など近年ニュースでも大きく報じられています。近隣の鶏・ウズラ農家にご協力をいただき、産地ならではの問題解決を進めています。

鳥インフルエンザによる殺処分数



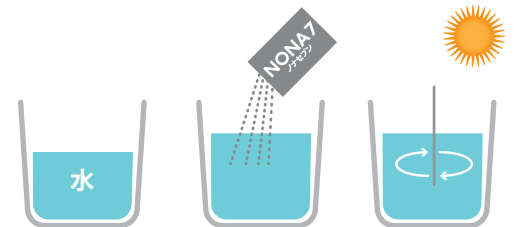
身近な問題解決としての開発
福井ファイバーテックは漁網や農業・各種産業用のネット製造をしており、近年ではFRPによる風力発電関連部材の製造など新事業へも積極的に取り組んでいる複合繊維メーカーです。
当社のある愛知県は、海と山に抱かれた土地から、水産業はもとより、農業・畜産の盛んな地域にあります。豊橋・田原地区は古くより養鶏が盛んであり、東三河地域ではウズラの飼養羽数全国1位、全国シェア約6割。また養豚も盛んな地域となっており、安全で衛生的な環境整備（ウイルスや臭いの問題）は常に課題となっています。



働く人や周辺環境への配慮を

従来の石灰からの完全置き換えでなく、併用することでさらに安心できる養鶏場運営が可能となります。

水で薄めて定期的な噴霧を行う事により、消臭効果も期待出来ますから、一連の作業を大きく阻害することなく、効果を得られると考えています。



中性だから、従事者への影響も軽減可能

痛くない
ノナセブンは中性ですから、これまでの石灰と異なり、目に入った際の刺激もありません。また吸い込みによる気管支への影響や、肌荒れなどに悩まされることがありません。

飛散しにくい
従来の石灰は、風による周辺地域への飛散、また鶏舎（主にアルミ部）劣化のリスク、土壌への影響懸念がありました。ノナセブンはそれらを大きく改善できる可能性を秘めています。